



公益財団法人 日本体育協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会報

第 73 号

平成28年7月31日

発行人

茨城県スポーツ指導者協議会
会 長 照 沼 一 美

事務局 〒306-0204

古河市下大野1463-4

事務局長 鈴木 義 夫

TEL・FAX 0280-92-4555

会員数 1,310 名 (H28.7.1 現在)



総 会 (平成 28 年 4 月 24 日(日) 水戸市・内原中央公民館)

公益財団法人 日本体育協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ.....	2
ミズノスポーツメントール賞の受賞報告.....	2
ミズノスポーツメントール賞を寄付報告.....	2～3
功労賞及び感謝状の受賞者あいさつ.....	3～4
支部だより.....	4～5
平成27年度収支決算報告書.....	6
平成28年度収支予算書.....	6
平成28年度本協議会事業計画書.....	7
みんなの広場及びお知らせ.....	8～10

ごあいさつ



照沼 一美

茨城県スポーツ指導者協議会会長

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶びを申し上げます。

平成二十八年年度事業実施に当たり、会員の皆様と伴に本協議会発展されますよう、願いを込めごあいさつ申し上げます。

平成二十八年四月二十四日の総会において、報告事項を承認いただき、決議事項は新年度の事業計画、収支予算等を審議いただき、賛成多数でご承認を賜りました。

このことにより、茨城県スポーツ指導者協議会は県内六支部が一体となった運営に向けスタートいたしました。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、県内各支部から発信されます研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますようご期待いたしております。あわせてそれぞれの支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

我々公認スポーツ指導者は今後の指導現場において、スポーツの楽しさとスポーツ文化の向上に精進努

力したいものです。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、次元の高いより良い指導者として指導方法を研鑽され、理想の指導者への道を歩まれますようご期待申し上げます。

「二〇一五年度ミズノスポーツメントール賞」受賞の報告

茨城県スポーツ指導者協議会会長

照沼 一美

このたび、私こと、照沼一美は名誉あるミズノスポーツメントール賞を拝受いたしました。もとより浅学菲才の者ゆえ、誠に恐縮いたしております。県体育協会よりご推薦頂いたものが運もよろしく選考委員に認められ受賞と相成りました。

この制度は（公財）ミズノスポーツ振興財団、（公財）日本体育協会（公財）日本オリンピックピック委員会において制定されたもので競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成並びに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰することを目的に一九九〇年に制定されたものです。

表彰式は平成二十八年四月二十二日東京・品川グランドプリンスホテル新高輪において開催されました。同時受賞者には佐々木則夫などして監督・新体操の山崎浩子氏等を含め十三名が受賞されました。

このことが茨城県内の有資格者並びにスポーツを指導されておられる関係者の皆様の、先駆者としての役目が出来まことを念頭に、高名な賞を拝受させていただきました。終わりに県体育協会のご推薦に感謝を申し上げ、また応援いただきました先人の方々や、ご同輩の皆様に御礼を申し上げ受賞の報告をさせていただきます。

二〇一五年度ミズノスポーツメントール賞を照沼会長より寄付



鈴木 義夫

茨城県スポーツ指導者協議会事務局長

（公財）ミズノスポーツ振興財団では、（公財）日本体育協会（公財）日本オリンピックピック委員会と共催で一九九〇年度よりミズノスポーツメントール賞を制定されて、この賞は我が国の競技スポーツおよび地域スポーツに於いて、選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに優秀な指導者の育成を目的に制定したものであります。

この賞の目的および選考基準は過去継続して我が国における優秀選手の育成に努めた指導者およびその周辺の指導者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の顕彰する今回の二〇一五年度ミズノスポーツメントール賞に本協議会照沼会長が、（公財）茨城県体育協会の推薦を得て、（公財）日本オリンピック委員会竹田会長・橋本常任理事・尾崎理事（公財）東京オリンピックピックパラリンピック競技大会組織委員会治参与（公財）日本体育協会監物副会長・岡崎副会



2016年4月22日 於 グランドプリンスホテル新高輪

長・大野常任理事の7名による選考委員会でもミズノスポーツメントール賞を選考された13名に本協議会照沼会長も受賞者に決定しました。

ミズノスポーツメントール賞は主催者の（公財）ミズノスポーツ振興財団から賞状・トロフィー・副賞50万円を本協議会照沼会長が表彰式で受賞いたしました。

このたび、本協議会照沼会長より副賞50万円を茨城県のスポーツ振興と発展を心から願ひ、公認スポーツ指導者の育成と普及の為、（公財）茨城県体育協会に寄付されました事をご報告申し上げます。

本文はインターネットホームページから一部を引用いたしました。

茨城県スポーツ指導者協議会
表彰（功労賞・感謝状）

受賞者あいさつ

功労賞の受賞について



木村 邦子

那珂市

平成二十八年度茨城県スポーツ指導者協議会において功労賞を賜り、ご推薦を頂きました中央支部及び関係各位の皆様にお礼申し上げます。ジュニアのクラブを立ち上げるにあ

たり、資格が必要と思ひ、昭和六十二年に日本テニス協会公認指導員の資格を取得しました。また、平成二年に日本体育協会公認スポーツ指導員の資格を取得、その後、指導に必要と思われる資格を得、昭和六十年より茨城県テニス協会のジュニア委員会、指導委員会に所属し活動しております。

沢山のジュニアとの出会い、また研修会、講習会等に参加し、諸先輩のご指導をいただき、楽しくジュニアと接しております。練習の中で楽しさや、挨拶、マナー、ルール、技術面等微力ながらアドバイスをして行けたらと思っております。

2019年の茨城国民体育大会として、全国高校総合体育大会の高いレベルの試合を観戦して、現在世界で活躍している錦織圭プロを目指して、夢に向って羽ばたいてほしいです。諸先輩のご指導を賜り、テニスの普及につとめ、微力ながらこれからもジュニアに関わって行きたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

功労賞を受賞して



高村 卓雄

常陸大宮市

この度、茨城県指導者協議会よ

り功労賞を頂きました。これも偏に県の役員の方は勿論の事、中央支部の役員を始め、会員皆様方のご助力によるものと深く感謝いたします。省みますと私は昭和三十八年より、空手道を始め昭和六十一年にC級スポーツ指導員の資格を取得し、現在に至っております。この間、中央支部の方々には多大なるご厚情、ご協力を戴きながら何の貢献も出来ず賞の推薦をして戴き大変恐縮致しております。しかしながら古稀半ばとなりましたが「烈士の暮年壮心己まづ」の気概をもって子供達と稽古、指導して行きたいと思ひます。今後共諸先生方のご指導をお願い致して御礼のことばと致します。

感謝状の受賞について



角谷 俊二

下妻市

平成28年度茨城県スポーツ指導者協議会総会の席において本会長の、照沼会長殿より、感謝状の表彰を賜りまして誠に有り難うございました。スポーツ指導員の資格については、当時、昭和50年代で、バレーボールのC級指導員の資格で取得致しました。資格取得には、140時間間の講習を受けるハードスケジュールで有りましたが現会長で有る、照沼会

長・多数のママさんバレー倶楽部の方々と毎週土日に水戸の武道館・笠松運動公園等に通ひ受講致しました。公認スポーツ指導者登録証のカードが、届いた時は、達成感で一杯に成りました。昭和50年代は、スポーツ特に、ママさんバレー等が盛んで、私が勤めていた会社でも、男子・女子・ママさんバレーボールの倶楽部を作りその指導・運営等に携わりました。

時を同じくして、下妻市で、バレーボール協会の立上げに協力して、当時で県西地区関係のクラブチーム24チーム強を集める程の協会を作りました。但し、現在では日本体育協会から種目スポーツクラブに簡単に入る為の試作として例（バスケットボール↓ミニバスケットボール）（バレーボール↓ソフトバレー↓ビーチバレーボール）（ゴルフ↓ターゲットゴルフ）に細分化された為逆に、専門スポーツから離れて行く様に、思われました。バレーボール協会についても同様、大会回数が減ってきている状態です。但し、下妻のバレーボールについては、小中高の協力また一般社会人等の協力をえて現役でバレーボール協会の副会長として牽引、協会発展の為尽力していきます。又、昭和50年代に下妻市よりスポーツ推進員の委託を受け（現在のスポーツサポーター）現在も継続し市政の為協力致しております。下妻市のスポーツサポーターとは、

下妻市主催の下記内容のサポートを
しております。

①新春歩け歩け大会(毎年1月3日)
参加者600名

※歩行コースの立哨・警備及び歩行指導
②ふれあいウォークフェスティバル
(11月上旬)参加者300名

※歩行コースの立哨・警備及び歩行指導
③第28回砂沼マラソン大会(毎年11月
第3日曜日開催)参加者1500名

※スポーツサポーター240名の
取り纏めを会長とともに対応

※歩行コースの立哨・警備及び
歩行指導

④市内10地区に有る地域スポーツ
事への参加と協力

今回の感謝状受賞については、取
り留めない文章にて列記致しました
がこの様な内容が、評価されたと考
えております。

支部だより

県北支部

支部長

梅村恒雄

総会に先立ち、熊本地震に対す
る黙祷を捧げ、県総会で沼沼会長
より「マスコミでスポーツ界の薬
物・賭博問題が報道されています。
スポーツ界における暴力根絶を訴
えており、日体協でも平成二十六
年から暴力に関する罰則が提案さ
れています。くれぐれも関わらな

いように気をつけて欲しい」と指
導があった事を参加者の皆さんに
ご報告しました。

総会では、平成二十七年度の活
動報告と平成二十八年度の事業計
画を提案し承認されました。

平成二十八年度の事業は、
役員会(月一回)、各委員会(随
時)の開催

・会報「あみご」の発行(年一回)
・近隣市町村への運営協力
・日立さくらロードレースの給水

・女性センターまつりへの協力
・県北地区研修会の開催

などを中心とした活動を予定し
ております。

今年度は、地区研修会を最大の目
標に位置付け、多くの会員の皆様に
参加していただける研修会になるよ
う役員会で計画していきます。

また、総会前に恒例となっている実
技研修として、個人が自宅で実践す
る際の参考としてニュースポーツ(ス
テップスポーツ)を紹介しました。参
加者からは「楽しく参加できました。
これからも新しいスポーツの紹介を計
画して欲しい」との声がありました。

県北支部は、今年結成三十年を
迎えます。役員一同これまでの歩み
を振り返り、登録指導者のニーズ
に応えられる活動と地域社会の発
展に貢献できるような魅力ある活
動を微力ながら力を尽くしていき
たいと考えています。

平成二十八年度中央支部総会を
四月二日(土)、ひたちなか市松
戸体育館に於いて開催して、新年
度が始まりました。

中央支部

事務局

野々村律子

平成二十八年度中央支部総会を
四月二日(土)、ひたちなか市松
戸体育館に於いて開催して、新年
度が始まりました。

六月四日(土)に恒例の支部救
急講習会をひたちなか市消防署
の御協力で、受講する事が出来ま
した。講師がレスリングと野球の経
験者でとても意義ある内容でした。
心に残る言葉としては、消防署救
命隊員は三人一チームとの事なので
常日頃より自分が四人目の救命隊
員になるべく自覚を持ち、人命を
助けるには、時間との戦いであり、
今しなければという勇気を持って!!
心に響く、印象深い講習でした。

中央支部としては、この事業は続
けてゆくべきだと確信致します。

九月三日(土)笠松運動公園多
目的室で今年度の(公財)日本体育
協会公認スポーツ指導者の義務研修
を、中央支部研修会を開催します。

支部講習会として長年継続して、
勉強して来た救急救命について、資
料の提供と意識の伝達をして、情報
提供を支部発信したいと思います。

講演Iはトレーニングの科学で、長
年御協力頂いている、鍼灸マッサー
ジ師の藤枝昇先生に指導者の体の守
り方を学びます。藤枝先生は全盲で
いらつしやるのですが、お会いする

度にバイタリティーの凄さと向上心
溢れる講話が想い出され、今回も楽
しみです。講演IIはメディアで見聞
きする事が多くなっている気がする、
パラリンピック関連の事項に付随し
て、障がい者のスポーツ活動について
飯島寿一氏の講話を頂きます。

私達指導者は、自分の競技の、
外の競技の障がい者に目を向けて、
意識を高めるべく時期が訪れた感
が致しますので、学びます。

何か人の役にたてる喜びを、実
感出来れば幸せと思います。

水戸支部

支部長

吉田広光

平成二十八年度五月八日水戸支部
で年内事業の一つであります総会を
終えと同時に本年度の事業活動方
針について検討し役員の役割目標な
ど開催予定であります。活動の中
で本年度は茨城県スポーツ指導者研
修会「全県研修」を水戸支部が主管で、
一年置きに開催致します。期日八月
七日(日)会場は茨城県農村研修館
に決っております。是非指導者の皆
様方には積極的にこの研修に参加さ
れ資質向上研磨され今後のスポーツ
活動に有意義に役立されまことを
期待申し上げます。

さて現在茨城県スポーツ指導者協
議会水戸支部の会員数は一四八名で
あります。水戸支部からの研修及び
総会文の案内文書の件ですが指導者

に決っております。是非指導者の皆
様方には積極的にこの研修に参加さ
れ資質向上研磨され今後のスポーツ
活動に有意義に役立されまことを
期待申し上げます。

の皆様方に案内文書が届きましたらお手数でも返信されますよう一人でも多くの指導者の仲間作りを考えており是非水戸支部よりの案内文書が届きましたら改めて返信されますよう会員の皆様のご協力とご支援を賜りたくお願い申し上げます。報告と致します。

鹿行支部

副支部長

君和田 治也

鹿行スポーツ指導者協議会行事として2年に1回、有資格者義務講習開催のお手伝を行っています。昨年度2月には鹿行地区持ち回りで行っていきます。今回は潮来市において開催されました。今回は、清水隆一コーチングカレッジ株式会社主任コーチ田中守氏による「指導者に必要なコミュニケーションスキル」の講演と、鉦田病院院長、横田廣夫先生による「中高年齢のための運動プログラムについて」の講演を行いました。

参加者は100名を超え、鹿行地区として参加者は30名、他地域や県外の方は、70名程参加されました。義務講習期限ギリギリの為に参加された方や毎回近くなので参加される方等いろいろな状況のなかで参加していると感じました。その有資格者方の為に準備やお手伝いが出来た事はやはり甲斐があり、良かったと感じています。

元々スポーツ有資格者として、新たな情報を自分に取り入れる為に研修会を開催しているのだから出来れば2年に1回でなく、毎年新たな情報を取って頂くような方が増え現役のスポーツ者に伝わって頂ければいいかと思っております。今後も、多忙なスポーツ指導者の為に、年度末最後の認定講習会の準備・開催のお手伝いを行っていきます。是非、新たな情報を身に付けるように講習会へ参加して頂ければ幸いです。

県南支部

支部長

櫻井 孝之

今年度は、二年振りに地区研修会の開催です。十一月十三日(日)に阿見町本郷ふれあいセンターで開催いたします。日頃会員の皆様と触れ合う機会が有りませぬので、この研修会で皆様との情報交換が出来ればと考えております。

義務研修の内容が変わり、講義Iと講義IIだけとなり協議研修が無くなり半日研修となりました。今回は百名程の参加を頂きました。今回はそれ以上の参加者を期待しております。

県南支部の組織も、かなり弱体化して久しいのですが、どなたに、お願いすれば良いのかと四苦八苦しています。県南支部会員の皆様にご協力を只々お願いをするばかりです。話題を変えて、茨城国体開催を控

えて、選手強化や、会場関連等に関係する指導者の皆様には大変ご苦労も多い事と推察いたします。県スポーツ少年団では、選手団の応援活動の一環として、今年から3年間、千羽鶴を県内のスポーツ少年団の子供達に折紙制作で参加して頂く事になりました。各市町村に於いても、準備活動等で参加される方もおられると推察いたします。ご苦労様です。一部の会員の皆様には、研修会運営にお手伝いをお願い致したいと思っております。後日ご連絡致しますので、宜しくご協力の程、重ねてお願い申し上げます。

県西支部

事務局長

近藤 康雄

県西支部、平成28年度支部総会を3年続けて筑西市総合体育館で平成28年4月17日(日)、午前10時より開催致しました。支部会員165名(前年度より20名増)に対し、出席者15名(当日欠席4名)欠席委任状119名、未連絡31名でした。平成27年度の活動報告、決算報告、平成28年度の活動計画、予算を審議し承認されました。総会の中で参加会員から茨スポ指導協県西支部の会員が各々各地区(各市町村)で何を行っているのか?把握できているのか?等質問があり、現状、把握できていない旨答えました。事務局として各会員にアンケートをとって確認をす

るしかない話をし、現在、検討中です。各市町村(行政)のスポーツ担当課との関わりも考えなければと思っております。(但し個人情報問題も出てくる)昨年計画していた総会後の「普通救命講習会」は筑西消防署の都合により中止しました。(講習会場は消防署以外では難しいとの事)平成28年度の活動計画の中で企画している県西支部研修会については7月24日に予定していたが参議院選挙の投票会場の件で8月28日(日)に開催する事になりました。会報が到着するまでには会員の方々には開催案内を送付致します。昨年はニュースポーツ「インディアカ」でしたが今年度は「ストレッチ体操」を実施したいと思っております。多くの会員の方々の参加を希望します。又、この会報をご覧になり、御意見、ご要望がありましたら

◆〒306-0005 2

古河市大山1543-113

◆TEL・FAX

0280-48-1911

◆TEL・FAX

0280-48-1911

◆TEL・FAX

0280-48-1911

◆TEL・FAX

0280-48-1911

◆TEL・FAX

0280-48-1911



平成27年度 収支決算報告書 (平成27年 4月1日～平成28年 3月31日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	1,300,000	1,458,000	158,000	6000円×2名・5000円×4名・4000円×338名・3000円×15名・2000円×6名・1000円×17名
2. 助成金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (27年度)
3. 繰越金	176,161	176,161	0	前年度繰越金 (26年度)
4. 雑収入	839	41,120	40,281	利息・返金・広告料・寄付金 (総務・研修委員長)
合計	1,677,000	1,875,281	198,281	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会議費	191,000	210,889	19,889	
総務委員会	32,000	31,906	△ 94	切手・事務用品・飲み物・会場使用
常任理事会	11,000	5,498	△ 5,502	切手・事務用品・飲み物・会場使用
理事委員会	25,000	31,758	6,758	切手・事務用品・飲み物・会場使用
総務委員会	20,000	11,394	△ 8,606	切手・事務用品・飲み物・会場使用・交通・手当
研修委員会	28,000	78,500	50,500	切手・事務用品・飲み物・会場使用・交通・手当
広報委員会	75,000	51,833	△ 23,167	切手・事務用品・飲み物・会場使用・交通・手当
2. 事務費	556,000	643,547	87,547	
旅費	150,000	216,500	66,500	会議交通 (監査・総会・常任理事会・理事会)
役務費	50,000	50,000	0	会長・事務局長
消耗品費	110,000	119,438	9,438	事務用品・コピー紙・ラベル・インク・トナー他
食料費	16,000	4,038	△ 11,962	会計監査・事務局
印刷コピー費	25,000	31,072	6,072	封筒印刷・コピー使用
通信費	170,000	171,850	1,850	切手・メール便
備品費	35,000	50,649	15,649	メモリー・ゴム印・朱肉・スタンプ台・ファックス他
3. 事業費	831,800	895,468	63,668	
会報印刷費	225,000	211,672	△ 13,328	会報第71号・第72号印刷
会報発送費	196,800	206,060	9,260	会報第71号・第72号送料
研修費	40,000	45,476	5,476	研修会 (全県・地区) 用品等
派遣費	20,000	82,260	62,260	関東ブロック会議等
県北活動費	60,000	60,000	0	
水戸活動費	60,000	60,000	0	
中央活動費	90,000	90,000	0	
鹿行活動費	50,000	50,000	0	
県南活動費	30,000	30,000	0	
県西活動費	60,000	60,000	0	
4. 負担金	0	0	0	関東ブロックスポーツ指導者協議会
5. 雑費	37,000	32,883	△ 4,117	手数料・賞状・額縁・その他
6. 予備費	61,200	0	△ 61,200	
合計	1,677,000	1,782,787	105,787	

収入合計 1,875,281 円
 支出合計 1,782,787 円
 差引残金 92,494 円

※上記のとおりご報告いたします。
 なお、差引き残金は平成28年度収支予算書に繰越し致します。

平成28年度 収支予算書 (平成28年 4月1日～平成29年 3月31日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会費	1,480,000	1,300,000	180,000	4,000円×370名
2. 助成金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (28年度)
3. 繰越金	92,494	176,161	△ 84,667	前年度繰越金 (27年度)
4. 雑収入	37,506	839	36,667	利息・返金・広告料・寄付金
合計	1,810,000	1,677,000	133,000	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会議費	205,000	191,000	14,000	
総務委員会	33,000	32,000	1,000	
常任理事会	10,000	11,000	△ 1,000	
理事委員会	32,000	25,000	7,000	
総務委員会	20,000	20,000	0	
研修委員会	60,000	28,000	32,000	
広報委員会	50,000	75,000	△ 25,000	
2. 事務費	622,000	556,000	66,000	
旅費	190,000	150,000	40,000	
役務費	50,000	50,000	0	
消耗品費	110,000	110,000	0	
食料費	12,000	16,000	△ 4,000	
印刷コピー費	50,000	25,000	25,000	
通信費	170,000	170,000	0	
備品費	40,000	35,000	5,000	
3. 事業費	925,000	831,800	93,200	
会報印刷費	215,000	225,000	△ 10,000	会報第73号・第74号印刷
会報発送費	210,000	196,800	13,200	会報第73号・第74号送料
研修費	40,000	40,000	0	
派遣費	60,000	20,000	40,000	
県北活動費	70,000	60,000	10,000	
水戸活動費	60,000	60,000	0	
中央活動費	90,000	90,000	0	
鹿行活動費	50,000	50,000	0	
県南活動費	60,000	30,000	30,000	
県西活動費	70,000	60,000	10,000	
4. 負担金	3,000	0	3,000	関東ブロックスポーツ指導者協議会
5. 雑費	37,000	37,000	0	
6. 予備費	18,000	61,200	△ 43,200	
合計	1,810,000	1,677,000	133,000	

収入合計 1,810,000 円
 支出合計 1,810,000 円
 差引残金 0 円

※上記のとおりご提案いたします。

平成28年度本協議会事業計画書

1. 方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携につとめ、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会へ会員入会の促進を積極的に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2. 目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の体制充実を図る。
 - ②支部組織の充実を図る。
 - ③市町村および競技団体との連携協調に努める。
 - ④有資格者の会員入会および会員更新の促進を推進する。
- 2) 研修会(全県及び地区)を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。

3. 事業

1) 平成28年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力

- ①平成28年度全県研修会(旧・中央研修会)
 - (1)期日 平成28年8月7日(日) 8時00分開会～12時15分閉会
 - (2)会場 水戸市・茨城県農村研修館
 - (3)参加料 会員 1,000円 未会員 1,500円
 - (4)参加定員 160名先着締切り
 - (5)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・水戸支部及び研修委員会
 - (6)運営委員 28名(水戸支部役員・研修委員会委員・本部役員)
- ②平成28年度県南地区研修会
 - (1)期日 平成28年11月13日(日) 10時00分開会～14時45分閉会
 - (2)会場 阿見町・本郷ふれあいセンター
 - (3)参加料 会員 1,000円 未会員 1,500円
 - (4)参加定員 200名
 - (5)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・県南支部
 - (6)運営委員 20名(県南支部役員・本部役員)
- ③平成28年度県北地区研修会
 - (1)期日 平成29年2月5日(日) 10時00分開会～14時45分閉会
 - (2)会場 日立市・日立女性センター(らぼ～る)
 - (3)参加料 会員 1,000円 未会員 1,500円
 - (4)参加定員 120名
 - (5)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・県北支部
 - (6)運営委員 20名(県北支部役員・本部役員)

2) 平成28年度会報発行

- ①会報第73号発行
 - (1)ページ数 10ページ予定
 - (2)発行月日 平成28年7月下旬予定
 - (3)発行先 6支部会員及び新規入会会員
 - (4)発行数 1,400部予定
- ②会報第74号発行
 - (1)ページ数 10ページ予定
 - (2)発行月日 平成29年3月中旬予定
 - (3)発行先 6支部会員及び新規入会会員
 - (4)発行数 1,400部予定

3) 平成28年度全国スポーツ指導者連絡会議

- ①平成28年度第1回関東ブロックスポーツ指導者協議会研修懇親会(宿泊)
 - (1)期日 平成28年6月19日(日)～20日(月)
 - (2)会場 神奈川県・箱根湯本温泉『南風荘』
 - (3)参加者 若干名(参加希望者)予定

- ②平成28年度第2回関東ブロックスポーツ指導者協議会代表者会
 - (1)期日 平成28年9月■日(■) 予定
 - (2)会場 東京都・岸記念体育会館予定
 - (3)出席者 若干名予定

- ③平成28年度第3回関東ブロックスポーツ指導者協議会代表者会
 - (1)期日 平成28年12月9日(金) 予定
 - (2)会場 東京都・岸記念体育会館予定
 - (3)出席者 1名(茨城代表) 予定

- ④平成28年度全国スポーツ指導者連絡会議・幹事会及び全体会
 - (1)期日 平成28年12月9日(金) 予定
 - (2)会場 東京都・岸記念体育会館予定
 - (3)出席者 1名(茨城代表) 予定

- ⑤平成28年度公認スポーツ指導者全国研修会
 - (1)期日 平成28年12月10日(土) 予定
 - (2)会場 東京都・TKP ガーデンシティ品川
 - (3)出席者 若干名(参加希望者) 予定

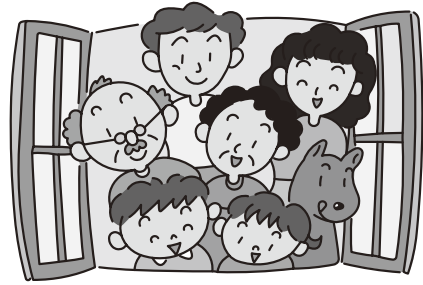
- ⑥平成28年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の受賞者
 - (1)期日 平成28年12月10日(土) 予定
 - (2)会場 東京都・TKP ガーデンシティ品川 予定
 - (3)受賞者 3名(本協議会推薦) 予定

- 4) 平成28年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の支部推薦者
 - (1)県北支部 平松光子様(順位三位)
 - (2)水戸支部 推薦見送り
 - (3)中央支部 高村卓雄様(順位一位)・木村邦子様(順位二位)
 - (4)鹿行支部 推薦見送り
 - (5)県南支部 次年度推薦予定
 - (6)県西支部 推薦見送り

- 5) 平成28年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰の受賞者
 - ①期日 平成28年4月24日(日)
 - ②会場 水戸市・内原中央公民館二階視聴覚室
 - ③受賞者 功労賞2名(支部推薦)
 - 高村卓雄様(中央支部) 木村邦子様(中央支部)
 - 感謝状3名(支部推薦)
 - 笹本 弘様(水戸支部) 角谷俊二様(県西支部)
 - 石塚君子様(県西支部)

- 6) 平成28年度各種会議等の開催
 - ①総会 平成28年4月24日(日)
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階視聴覚室
 - ②常任理事会 2回計画/年予定(平成28年10月下旬・平成29年2月中旬)
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階会議室
 - ③理事会 3回計画/年予定(平成28年4月中旬・平成28年11月中旬・平成29年3月中旬)
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓会議室
 - ④専門委員会
 - (1)総務委員会 3回計画/年予定(平成28年10月下旬・平成28年11月中旬・平成29年3月中旬)
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階会議室
 - (2)研修委員会 3回計画/年予定(平成28年5月下旬・平成28年7月中旬・平成28年8月下旬)
 - 会場 水戸市・茨城県体育協会二階会議室
 - (3)広報委員会 2回計画/年予定(平成28年6月・平成29年2月)
 - 会場 水戸市・割烹備前

みんなの広場



楽しむことの大切さ

水戸市 青柳 薫光

私が女子ソフトボールチームの監督を引き受けたのは昭和54年でした。それまでは、私自身町内のお父さんソフトを楽しんでいた中で、試合の応援にかけたママさん達がキャッチボールを始め、それがチームを作るきっかけとなり「リリース」というママさんチームが誕生しました。

当初は、技術はさておきルールの勉強が主な活動だったと記憶しております。その後、試合をすれば負けは当りまえ。その時メンバーには悔しい気持ちはゼロ。負

けて当然といったムードが流れておりました。しかし、何試合も負け続けていると、選手の心には「勝ちたい」といった気持ちがわいてくるのは必然です。

そこで、勝つためには今選手一人ひとりに何が必要か、さらには対戦相手より一点多く取るためにはどうしたら良いかを考えさせ練習を続けました。そうした日々の練習の中で、盗塁やバントでランナーを一つでも先の塁へ進めるといったチームプレーが生まれ、指示したことしかやらなかった選手達が、自主的に今チームのために何をすべきかを考えて練習や試合をすることが出来るようになりました。

その結果、平成三年には茨城県大会で初優勝することが出来、それは創部12年目の快挙でありました。この時は選手全員が私達でもやれば出来るかと泣きかけたことが思い出されます。その後、年度を重ね大会名称もママさんからレディース大会となり、茨城県代表として全国大会9回、関東大会10回の出場機会に恵まれました。その中でも、平成18年度に新潟県上越市で行われた第11回全国レディース大会においてベスト8まで勝ち進んだことが最高の成績であり思い出です。

そして平成21年には、チーム創

部30周年を迎えることが出来、それまでのチーム成績と個人成績さらには選手全員のコメントと写真等を入れた78ページを一冊にまとめ「リリース30周年の思い出」として発行し、水戸市内のホテルにおいて、選手や家族さらには関係者を招待し「30年の集い」を開催するまでになりました。

現在も、今年で創部37年を迎え10代から60代までの30名の選手が当初のチームのモットーであります「美容と健康」(女子チームだけに、全員がそれなりに常に美しく健康でありたいと願っていること)を今でも継続し活動をおこなっております。

しかし、ここまで長きにわたり女子チームとして継続できた事のひとつに、なんとといっても「楽しむ」ことが挙げられると思います。守備や打撃等において、選手一人ひとりの出来る出来ないの個人差を指導者がどうとらえて指導するかが大切なことであり、指導者も常に進化が必要になってきます。また指導する中で言葉を含め暴力に頼ることは絶対にあってはならないことでもあります。今まで通りこれからは選手と一体となってソフトボールを大いに楽しんで行きたいと思っております。

ホームページ開設



www.ibaraki-sports.or.jp/



水戸市「リリース」チーム

バドミントンに思う



茨城町
上野 広之

私がバドミントンを始めたのは二十三才で社会人になってからですが、早いもので三十五年が経ちました。

私の住んでいる茨城町には、当時バドミントンクラブの在る学校も無く、当然ですが町のクラブもありませんでしたので、最初は、自分達で町の体育館をお借りしてラケットの握り方も分らずに、ただラケットを振り羽根を打つことだけの練習に満足していました。

そんな時、仕事の関係で全国青年大会茨城郡予選会のバドミントンの試合を見学することとなりました。

わが茨城町チームは、バドミントン経験の無い青年団から選手を出しており、相手チームは、高校生時代バドミントンクラブの経験者でした。当然のことながら試合は一方的な結果に終わりました。はじめ、バドミントンの動きの速さ、そして技術力の凄さを目のあたりにして愕然としたときのこと。偶然ですが、大学時代にインカ

レ一部に於いて選手として活躍した同級生に出会い基礎からバドミントンを教えてもらい、また、同級生の試合も応援に行くなどして少しずつではありますが、バドミントンの試合が出来るようになって来ました。

そのころ日本体育協会の行っているスポーツ指導者講習会を受講してから、先輩の指導者と一緒にママさんバレーボールの初心者教室の実技指導や教室終了後のクラブ作りや運営などをお手伝いさせて頂きました。

また、全国青年大会の監督として参加させて頂きました。

現在は、スポーツ宝くじtotoの収益金で運営されている地元の「ひぬますポーツコム」主催のポーツクラブにおいて、週一回ではありますが、初心者を中心にバドミントンを教えております。また今年で二十年を過ぎますが、毎週石岡市の八郷クラブで試合を中心に楽しく練習をさせて頂いております。

そして、年齢と共に落ちて来る筋力と体力を維持するために、時折、千波湖畔をジョギングしています。

私は、バドミントンを通じて、競技スポーツの奥の深さと厳しい練習の成果を実感しながらスポーツを楽しんで来ました。

そして、これまでバドミントンのお陰で健康だけでなく、沢山の方々と出会い多くの友達が出来たことは、自分の大きな財産となったことは言うまでもありません。現在社会では、当時と状況が変わりスポーツクラブの数も少なくなり、スポーツに親しむ方々が減少しているようであります。

特に、社会人になると生活の中で仕事メインとなりスポーツに掛ける時間が無くなって来るのは当り前のことではありますが、この部分については、昔とあまり変わっていないのではないかと思われれます。

しかし、健康のために身体を動かしたいと言う方は、スポーツジムや千波湖に来ている方々を見ても沢山おられます。

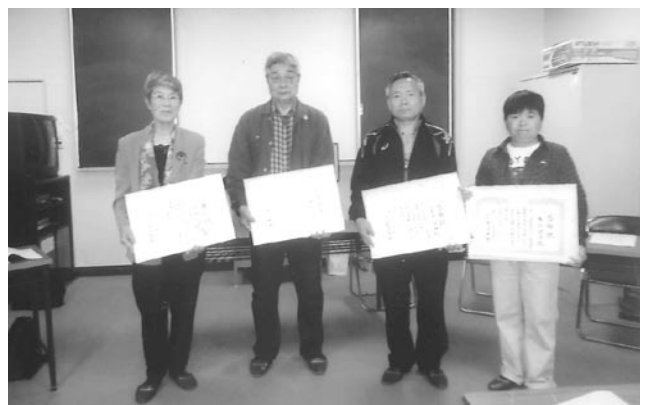
これから私は、スポーツ指導者として、これまで以上にスポーツの楽しさを伝えていきたいと思っております。



表彰風景



総会風景



表彰受賞者

鈴木康二(旧姓野内康二) 顧問のご逝去を悼む

県北支部 支部長 梅村恒雄
 茨城県スポーツ指導者協議会県北支部顧問鈴木康二氏(旧姓野内康二)元茨城県指導者協議会副会長が医師の治療も虚しく六月二十日、享年七十七歳で逝去されました。

本年、成立三十周年を迎える当県北支部にとって、氏を失うという大きな悲しみに直面しました。しかし、そのご遺志継承、悲しみを乗り越えて役員一同協力して難局を乗り切る所存です。

氏は、常陸太田市に生まれ、茨城県立常陸太田第一高等学校時代は、バレーボール競技で数々の大会で活躍されました。さらに、社会人になって日立製作所国分工場のパレーボール部の選手として輝かしい戦績も残されました。

地元常陸太田市においては体育指導員委員(現スポーツ推進委員)や市スポーツ指導員をはじめ数々の要職を歴任し、地域のスポーツ普及に尽力された功績は計り知れません。

平成十三年には、茨城県スポーツ指導者協議会県北支部の支部長に就任され、会員の活動強化、体

力向上、管理の強化など直面する課題に取り組みました。しかし、病に倒れられ、さぞ無念であったと推察いたします。

六月二十三日の葬儀には、多くの方々のご参列をいただきました。生前の公私に亘る人脈の広さに敬服した次第です。

顧問のスポーツに掛けた思いを胸に、生前のご恩に深く感謝を捧げ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



研修会風景



研修会役員活動

お知らせ

住所変更及び改姓した場合必ず変更届を連絡して下さい。

【連絡先】 ☎306-0204
 茨城県スポーツ指導者協議会事務局 古河市下大野1463-4
 鈴木 義夫
 TEL 0280-92-4555
 FAX 0280-92-4555

会員入会協力への おねがい

会員の皆様、有資格者のお仲間、会員入会をお勧めいただける様、ご協力をお願いいたします。

編集後記

第七十三号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただけるとの報告となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報第七十四号発行は平成二十九年三月(予定)

広報委員会

広報委員長

岡野 秀 一

広報副委員長

柏葉 光子(中央支部)

広報委員

佐藤 マツ(県北支部)

舛井 幸子(水戸支部)

君和田治也(鹿行支部)

櫻井 孝之(県南支部)

石塚 君子(県西支部)